

コアラ教室6月

令和 4年 6月16日(木)

参加人数(組 人)

甚目寺北児童館

確認印

		確認印	
ねらい	・親子で関わりながら絵の具あそびを楽しみ、素材に触れ感触を味わう。。		
時間	事業内容	環境および援助のポイント	
10:15 10:30	◎受付(1階) ・名簿に名前を書く。(保護者) ◎朝の挨拶 ・名前を呼ばれたら前に出てタンバリンを叩き、シールと名札をもらう。 ・シール帳に6月のシールを貼る。	・声かけしながら親子の様子(体調、機嫌など)を見る。	
10:40	◎月日、お天気調べ。 ・先生と一緒に言う。 ◎手遊び「パンダ・うさぎ・コアラ」 ・動物に合わせて体で表現する。 ◎体操「アンパンマン体操」 ・マントをつけて、みんなで楽しく体操をする。 ・元気よく体操をする。 ・体操の中で「アンパンマン」「ばいきんまん」と元気よく言う。	・名簿に名前を書く。(保護者) *シール・シール帳 ・親しみを込めて1人1人の名前を呼ぶ。 ・呼ばれた子はタンバリンを叩き名札とシールを渡す。 ・元気よく一緒に答えるように言葉がけをする。 *CD・ラジカセ ・手遊びの見本を見せ、言葉がけをする。 ・保護者にも一緒に体操をしてもらうように声をかける。	
10:45	◎読み聞かせ「どんな色が好き」 ・見やすいところに移動する。 ・お友達との間隔を空ける。 ・歌を歌いながら絵の具を使って先生が絵を描いていく。	・見やすいところに移動させる。 ・子どもの様子を見ながらお話を進める。	
11:00	・絵の具(あか・あお・きいろなど) ◎今月の活動 ・「絵の具あそび」 ・材料を配る。 ①ボンドを使って下絵を描いてもらう。(保護者) ②下絵の上から塩をふる。(親子) ③いろいろな色の絵の具を使って描いてみる。(手や筆を使って) ・終わったら手を洗いに行く。	・絵本を見せながら子どもたちにも問いかけてみる。 ・保護者にも協力してもらう。 ・ボンドの量を知らせる。 ・筆の使い方を知らせる。(力を入れすぎない様) *準備として ・卵パックの中に色々な色の絵の具を入れておく。 ・下絵を準備しておく。 ・ビニールクロス・雑巾・タオル	
11:15	◎終わりの挨拶 ・来月のお知らせを聞く。 ・「ごきげんよう」の曲に合わせて保護者と一緒に踊る。	・言葉がけしながら一緒に歌って踊る。 ・次回のお知らせをする。7/14(木)	
11:30	◎終了		
<p>評価反省 絵の具を使った事がない子がほとんどでしたが、1色ずつ塗る子、色々な色を混ぜて塗る子などさまざまでした。とても楽しそうで終わろうとしない子もいました。いつも部屋に入ってこない子が今日は絵の具に興味を持ち、ほめてあげると、とてもうれしそうな顔をして満足そうでした。</p>			

事業計画案 父の日のプレゼント作り

甚目寺北児童館

		確認印						
ねらい	お父さんへの感謝の気持ちを持ち、プレゼントを作る。							
日時	令和4年 6月11日(土)午前10時30分～			令和4年 6月13日(月)午後3時45分～				
	参加人数		名	参加人数		名	参加人数	名
	計	7 名		計	12 名	計	19 名	
時間	事業内容				環境および援助のポイント			
10:30 (15:45)	○受付 ・名簿に名前を記入する。 ・消毒 ○父の日のプレゼント作り(本の部屋) ・作り方の説明を聞く。 ①重曹50グラム、クエン酸25グラムが入っている袋の中に片栗粉25グラム、食紅数滴を袋の中に入れてよくかき混ぜる。 ②精油を4滴ほど入れる ③水を4.5プッシュ入れ、形を作り、スーパーボールを中に入れる。 ④湿気のないところで半日以上乾燥させる。 ・お父さんに向けてメッセージを書き、紙コップの外側に貼る。 ・袋のままバスボムをコップに入れる。 ・紙コップの中にストローを入れる。 ・袋に紙コップを入れ、リボンを結ぶ。				・アレルギーがある人もいるかもしれないのでバスボムの成分を申し込み前に掲示しておく。 ・消毒を必ずしてから入室してもらおう。 ・密にならないよう、席の間隔をあけて座ってもらおう。 ・父の日はどんな日か聞いたり、説明をして改めて父の日の意味を知ってもらおう。 ・作り方の説明の際には、静かに聞くように声掛けを行う。 ・重曹などは袋に入れておく。 ・何色が良いか聞き、数滴で色がつくことを伝える ・香りは何が良いか聞き、選んでもらう。 ・水は多く入れすぎるといけないことを伝える。 ・初めはなかなか固まらず不安に思う子どももいるかもしれないので、時間が経つと固まることを伝える。 ・色がついたり、形が出来てくることを一緒に喜んだりして子どもたちの気持ちに寄り添おう。 ・日頃の感謝の気持ちを込めて、メッセージカードを書くように声を掛ける。 ・バスボムは壊れやすいので、気を付けて帰るよう伝える。 ・半日から一日乾燥させてから使うように伝える。 ・また行事に参加したいと思ってもらえるように完成した作品を褒めたり、一緒に喜ぶ。			
11:30 (16:30)	○終了 ・挨拶をして作品を持って帰る。							
評価反省 父の日のプレゼントだったので、それぞれお父さんを思いうかべながら、バスボムの色や香りを選んでいく様子が伺えました。								
初めは本当に丸い形になるか、不安そうだったが、ぎゅっぎゅっと力を込めて握り、形になっていくのを喜んでいました。								
「早く使いたい。」との声が聞こえたので、改めて父の日の日にちを伝え、お父さんへの感謝の気持ちを伝えるように話をしました。								